青少幼年センター 子ども会情報紙

ひとりから

第16号 2017・3月

子ども会情報紙『ひとりから』
発行日／2017年３月１日
発　行／真宗大谷派（東本願寺）青少幼年センター
〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199
TEL：075-354-3440　FAX：075-351-9599
E-mail：oyc@higashihonganji.or.jp

勝覺寺
こども
報恩講

勝覺寺
早起き会

蓮ちゃん通信 その①

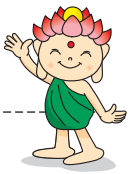
お寺での青少幼年教化に手づくり紙芝居を活用してみませんか?

2017年4月20日㊍
「手づくり紙芝居ワークショップ」開催!

紙芝居師・なっちゃんを講師に迎え、お寺で活用いただける紙芝居を手づくりすることを目的としたワークショップです。

〈定員〉先着20名／4月7日㊎申込締切
〈会場〉真宗教化センター「しんらん交流館」

※詳細は、『真宗』誌 2月号もしくは青少幼年センターホームページをご覧ください。



2017年6月12日㊊～13日㊋
「ひとりからはじめる子ども会」講習会 九州開催

子ども会開設にむけての悩みをスタッフが共に考え、その実践について体験していただきながら学ぶ講習会を九州で開催します。「お寺で子ども会をはじめてみたいな」そんな皆さんのご参加、お待ちしています!!

〈定員〉20名／5月22日㊊申込締切
〈会場〉鹿児島別院

※詳細は、『真宗』誌 4月号もしくは青少幼年センターホームページをご覧ください。

問い合わせ TEL.075-354-3440（青少幼年センター）

継続は力なり

青少幼年スタッフ 草間（くさま） 朋哉（ともや）

現在、自坊で行っている児童教化に類されるであろう活動は3つ。まず、夏休みのラジオ体操の前に正信偈の練習をする「早起き会」、毎年夏に開催している「おやこ納涼会」、そして報恩講の晩に勤める「こども報恩講」。とはいえ、自分自身が企画し、立ち上げたものは「おやこ納涼会」のみで、それ以外は先代から60年以上にわたってお寺で、あるいは地域で続けられてきたものですので、所謂「生みの苦しみ」と言いますか、企画し、呼びかけをし、実行する際の苦労というものを自分はあまり感じたことがありません。

「地域の中のお寺」ということ、「親から子へ、子から孫へ、という相続が自然と出来上がっている」ことが、児童教化をするにあたって（自分にとって）大変恵まれている環境であると思わずにはおれません。だからこそ、継続することの大切さというものをいつも感じています。自分は、その様なこれまでの「長い歩み」の上に立たせて貰っている、そして「お寺に来て、お参りをする」場をこれからも開き続けるだけでいいのだ、と。

それが、また次の代へ手渡されることを願って。

仏典童話を用いた法話の事例

「蜜のしずく」「ひとくちの水」

名古屋教区 杉原隆

「経教はこれをたとうるに、鏡のごとし。しばしば読み、しばしば尋ぬれば、智慧開発す」『観経疏序分義』

（お経の教えは、これを例えると、鏡のようなものです。何度も読み、何度もその意を尋ねるならば、私たちに智慧を生み出します。）

これは、中国の善導大師のお言葉です。私たちは毎日、鏡を見て顔や髪型や服装を確かめます。それと同じように、お経の言葉は鏡となって生きる姿を映し出します。この鏡は、私たちが見過ごしている、また見ないように避けている問題も映し出し、目覚めさせるはたらきをします。

仏典童話は、お経（仏典）の意を物語にしてわかりやすく伝えています。私は寺での子ども会やお参り先で子どもたちがいるとき、状況に応じて、絵本や紙芝居だけでなく、仏典童話の作品を朗読し、共に作品に「私」を学びます。『仏典童話Ⅰ』（東本願寺出版）から「蜜のしずく」と『仏典童話Ⅱ』（東本願寺出版）から「ひとくちの水」の原文を要約してご紹介します。

蜜のしずく

（文意要約）

ある晩、牢につながれていたカーラは、ねずみが開けた壁の穴から、だれにも見つからず脱走することに成功しました。

さんざん走り、へとへとになり大草原で休んでいると、突然、象の大群が地響きと土けむりをあげてカーラに迫ってきます。カーラは必死に逃げましたが、「もうだめだ」と思った瞬間、深い古井戸に落ち、途中でつたにしがみついて命拾いをしました。

カーラが助かって喜んだのも束の間、下を見ると竜が大きな口を開けて、カーラが落ちてくるのを待ちかまえています。

カーラはこんな所に長居はできないと、つたをよじ登り井戸から逃げだそうとします。井戸の中ほどで、カーラは上を見ると2匹のねずみが、命綱のつたをかじっていました。そして、そのねずみをねらって4匹の蛇が井戸のへりで待っているではありませんか。

カーラは蛇が死ぬほど大嫌いでした。

カーラは上にも下にも行けなくなってしまいました。

今つかんでいるつたは、やがてねずみが食い切るはずです。

その時、絶望してため息をもらしたカーラのくちに、井戸のへりのハチの巣からぽとりと甘い蜜のしずくが落ちました。

カーラは命の瀬戸ぎわにいることも忘れて蜜の甘さに夢中になっていました。

子どもたちと聞く法話

語り終えたおシャカさまはしばらく黙っておられました。やがておシャカさまはおたずねになりました。

「カーラはいったいだれのことでしょうか」

（『衆経撰雑譬喩』）

ひとくちの水

（文意要約）

モッガラーナがラージャガハの町を歩いていると不思議な光景に出会いました。

骨と皮だけほどにやせ細った女の人がいました。

その人が川に水を飲みに行くと、目の前ですーっと川はなくなり飲めません。次の瞬間、雨が降り体をうるおすかと思うと、雨は急に火の粒となり体を焼きます。

モッガラーナはおシャカさまにこのことを話し、あの人があのような目にあっているわけを尋ねました。

そこでおシャカさまは神通力をおこし、「あの人はたったひとくちの水を惜しんだばかりに、あのような苦しみを自分から招いてしまったのだ」と昔の姿を現しました。

女の人が苦労して井戸から水を汲んでいました。かめに水がいっぱいになったとき、のどが渇いたお坊さんがやってきました。女の人は水を惜しんで施しませんでした。

家に帰り、「せっかく汲んだ水をやれるもんか」とつぶやくと、家の中から、「ひとさまにあげて喜んでくださるのを見るほどうれしいことはないじゃないか」という声がしました。

女の人はそれを聞くと、はらを立て、声の方へ、つばをはきました。

すると、女の人も家もすーっと消えました。

「汗を流して水を汲めば、自分のものだと思いこむ。水を汲むつるべも、その手も、たまわったものであることに気がつかない。それはこの人だけのことだろうか」

おシャカさまは、すこし悲しいまなざしで言いました。

（『撰集百縁経』）

お釈迦様は、お話の最後に、「カーラはいったいだれのことでしょうか」、「それはこの人だけのことだろうか」とお尋ねになっています。言い換えれば、「あなたのことでもないですか」とおっしゃっています。

「みなさん、いかがですか?」。

私は「私」のことを言い当てられていると思います。

蓮ちゃん通信 その❷

「仏典童話」Ⅰ・Ⅱ

渡邊愛子 文
畠中光享 絵

【価　格】各1,296円
【申込先】東本願寺出版
（TEL.075-371-9189）

「な」ではじまる動物は何だろう？

「つ」ではじまる地名には何があるかな？

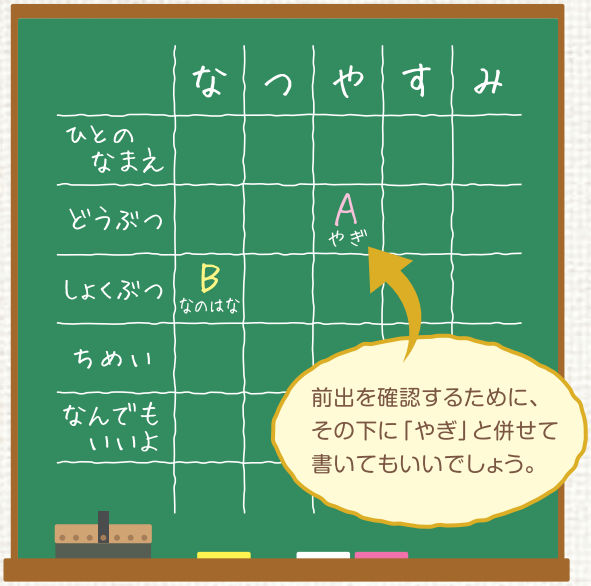
ひとりからはじめるイベントレシピ

春なのに?! 「なつやすみゲーム」

みんなで当てっこしてみよう！
さあ、どちらのチームが多く答えられるかな？

用意するもの

黒板やホワイトボード一式



1 参加者をランダムにA・Bの2つのチームに分けます。

ワンポイントアドバイス
前もって他のゲームをして、チーム分けをすると流れがいいよ。
（例えば、お互いに誕生日を聞きあい1月から順番に並んでもらったり、「じゃんけん列車」で輪になって2つに分ける等）

2 縦横5×5のマスを書きます。
横の項目は「な・つ・や・す・み」、縦の項目は「人の名前・動物・植物・地名・なんでもいいよ」など。

ワンポイントアドバイス
それぞれ項目はアレンジして自由に設定しても楽しいよ。ただし、「なんでもいいよ」の欄は幼児や低学年の優先解答欄として設けておくと年齢が違っても楽しめます。

3 例えば「動物の･･･“や!”」と司会者が言って、子どもたちに手を挙げてもらい、当てます。

子ども「やぎ！」→ オッケー！

該当のマスに答えたチーム名（AかB）を書きます。

4 次々に出題します「植物の･･･“な!”」

5 25マス全部埋まったら、マスに書かれたA・Bの数を数えて、多く答えたチームの勝利！

はくしゅ！パチパチ！

「またやりたい！」の声があがったら、子どもたちだけでも遊べます。
（項目をいろいろ変えてやってみてね）

蓮ちゃん通信 その3 「ひとりからはじめる子ども会ゲーム集」

45種類のゲームを収載したカード式のゲーム集です。

【価　格】700円
【申込先】各教務所もしくは青少幼年センター

なお、ゲーム集の動画版もホームページ上に公開しています。ぜひご活用ください。

東本願寺　青少幼年センター　検索

Re:サガエさんおしえて

子ども会での悩みや困りごとをサガエさんにお尋ねするコーナーです。

寺院での子ども会が大切といわれますが、地域にも子ども会があります。そもそも、なぜ寺院での子ども会なのですか?

佐賀枝 夏文（さがえ なつふみ）

1948年生まれ。大谷大学名誉教授。児童福祉施設等での児童指導員、心理判定員を経て、現在は高倉幼稚園長で青少幼年センター研究員。
カウンセラーネーム「サガエさん」です。
東本願寺出版より最新刊『すべてが君の足あとだから―人生の道案内―』発売中。

それでは、大谷派寺院で子ども会を開催する主旨について考えてみることにしましょう。

おとなたちが築いた「いま」

わたしたちは、だれもが「時代と社会」のなかで暮らしています。この「時代と社会」が、どのように成りたったかを考えてみることにします。いうならば、それは「おとなたち」が、「よかれ」とつくり上げた「時代」であり、「社会」です。そして、「今」に至るまで「おとなたち」は、「よかれ」と「わたしたちの社会」をつくり上げてきました。

この「わたしたちの社会」は、さまざまな競い合いから生まれました。それは、おとなたちの、よりよい社会への共同の作業だといえます。そこには、競争原理がはたらき「優勝劣敗」ということが「あたり前」におこなわれています。世界に目を向ければ、そこには厳しい競争と戦いがくり広げられています。「おとなたち」は今に限らず、いつの時代も「よかれ」と社会や時代を築いてきました。「よかれ」とつくり上げた結果、「勝ち組」「負け組」「格差」「つらく悲しいひと」をつくってきました。

相続したみ教えを…

子どもを取り巻く、さまざまな育成環境も「よかれ」とおこなわれています。そのすべて「あしき」とはいえませんが、しかし、気がつかないで「よかれ」と子どもたちを導くことは「あやうい」ことかもしれません。

仏教のみ教えは、そんな「競い合い」「傷つけあうこと」を「よし」とは説いてはいません。親鸞聖人のみ教えを相続している大谷派寺院は、子どもたちに正しいみ教えを伝え、子どもたちが「競争」「戦い」で傷つけ合うことから守り育てるべきです。

子ども会の悩みや困りごとをお寄せください！

これから子ども会をはじめようとする方や、すでに開かれている方のご質問に「Re:サガエさん教えて」のコーナーにてお答えします。

宛先は…oyc@higashihonganji.or.jp

編集後記

◎イベントレシピでは、チーム分けのためのゲームも紹介されています。仲のよい友達と離れ、心細さを感じてしまう子どももいるでしょう。子ども会で新しい友達との出会いの喜びを知ることは、いろいろな生き方、考え方をもつ人々と共に生きていく世界への第一歩となるはずです。その一歩に寄り添えたらと思います。（編集長）

◎青少幼年教化という時、「次世代に伝える」ということがよく言われます。しかし教化のベクトルは同時に「伝えたいことがあるのか?」と私「ひとり」に向けられているにすぎないのでしょう。「次世代」を隠れ蓑にせず、まずは私が座るその姿から…。一ヵ寺一僧侶一門徒の主体的な青少幼年教化を目指し、「ひとりからはじめるために」をテーマに教区の役割を考える児童教化教区代表者協議会がまもなく開催されます。（青セ主幹）

「仏の子ども」の誕生日！帰敬式を実践しましょう♪

蓮ちゃん通信 その④

20歳以下の帰敬式の礼金が設定されました！

本年1月より、20歳以下の帰敬式の礼金が5,000円に設定されました。子どもの時に受式した帰敬式が、生涯を通した仏道の歩みとなりますように…。

問い合わせ　研修部・帰敬式実践運動推進事務室
TEL.075-371-9185